

# 再評価現地説明資料

## 一級河川馬淵川広域河川改修事業

令和元年7月29日  
県土整備部 河川課

# I 事業概要

○河川名 : 一級河川 馬淵川

○計画延長: L=16,790m

○整備目標等

馬淵川(県境～安比川合流点)、安比川

→平成25年9月洪水対応

馬淵川(安比川合流点上流)

→平成18年10月洪水対応

○総事業費

当初計画(H25) C=2,393.0百万

前回再評価時(H26) C=4,206.6百万

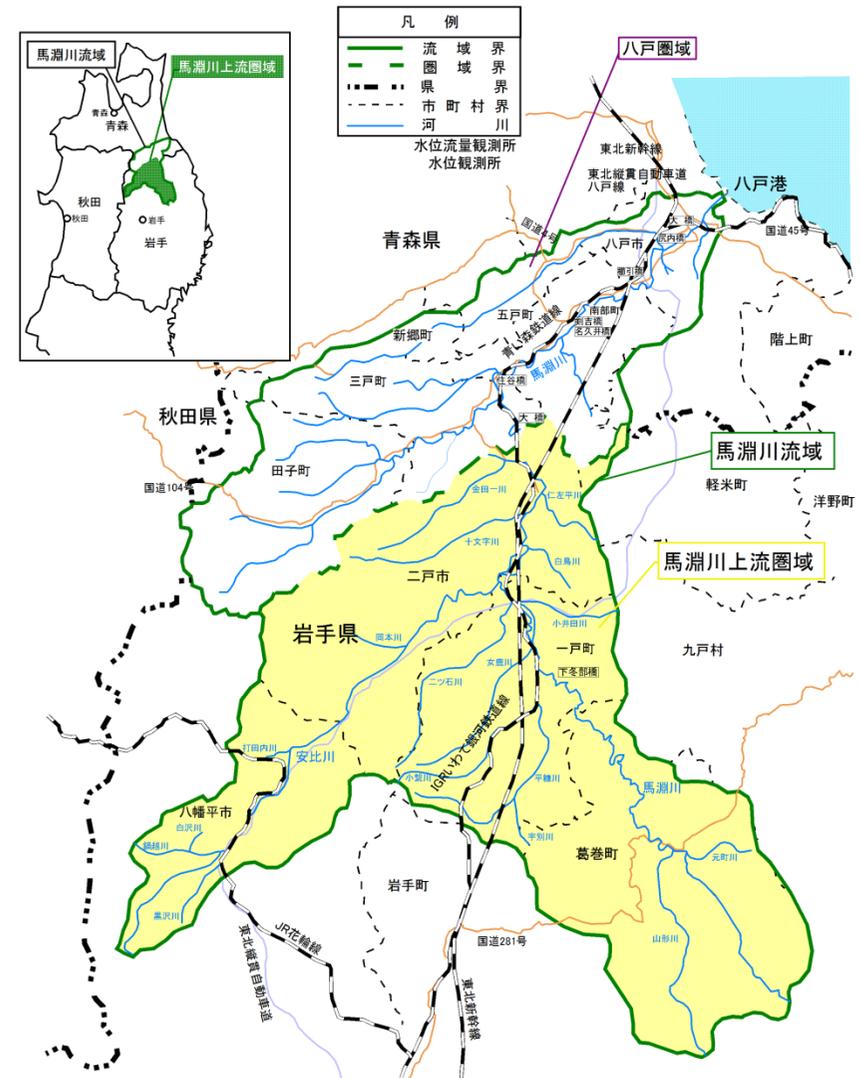
今回再評価時(R1) C=6,983.0百万

○事業計画期間

当初計画(H25) H25～R9

前回再評価時(H26) H25～R27

今回再評価時(R1) H25～R27



## Ⅱ 事業目的

### ○馬淵川及び安比川の現状

馬淵川上流域及び安比川では、昭和60年～平成30年にかけて2～3年に一回の頻度で家屋浸水等の浸水被害が生じている。

近年では平成18年、平成23年及び平成25年に大規模な浸水被害が発生しており、平成25年9月洪水においてはこれまで比較的被災規模が小さかった支川安比川でも被害が発生するなど、床上78戸、床下37戸にのぼる既往最大の被害が発生している。

⇒治水安全度の向上が課題である。

#### 【洪水被害の状況 H23.9洪水】



馬淵川 本町工区(斗米橋上流)状況



馬淵川 関谷工区(岩根橋)の状況

## Ⅱ 事業目的

【洪水被害の状況 H25.9洪水】



安比川 安比・福田工区(川原橋下流)の状況

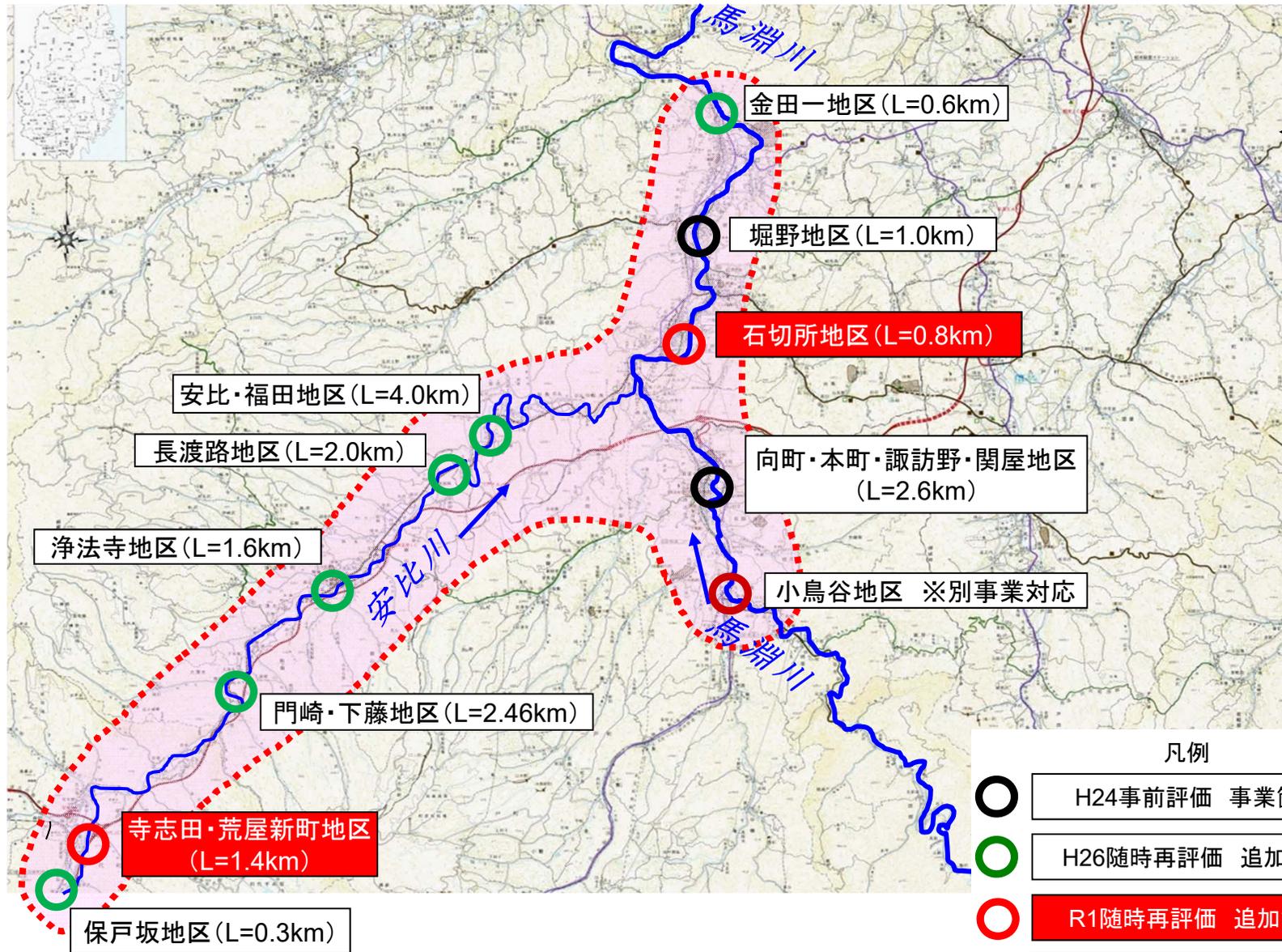


馬淵川 堀野工区(斗米橋上流)の状況

### ○整備によって得られる効果

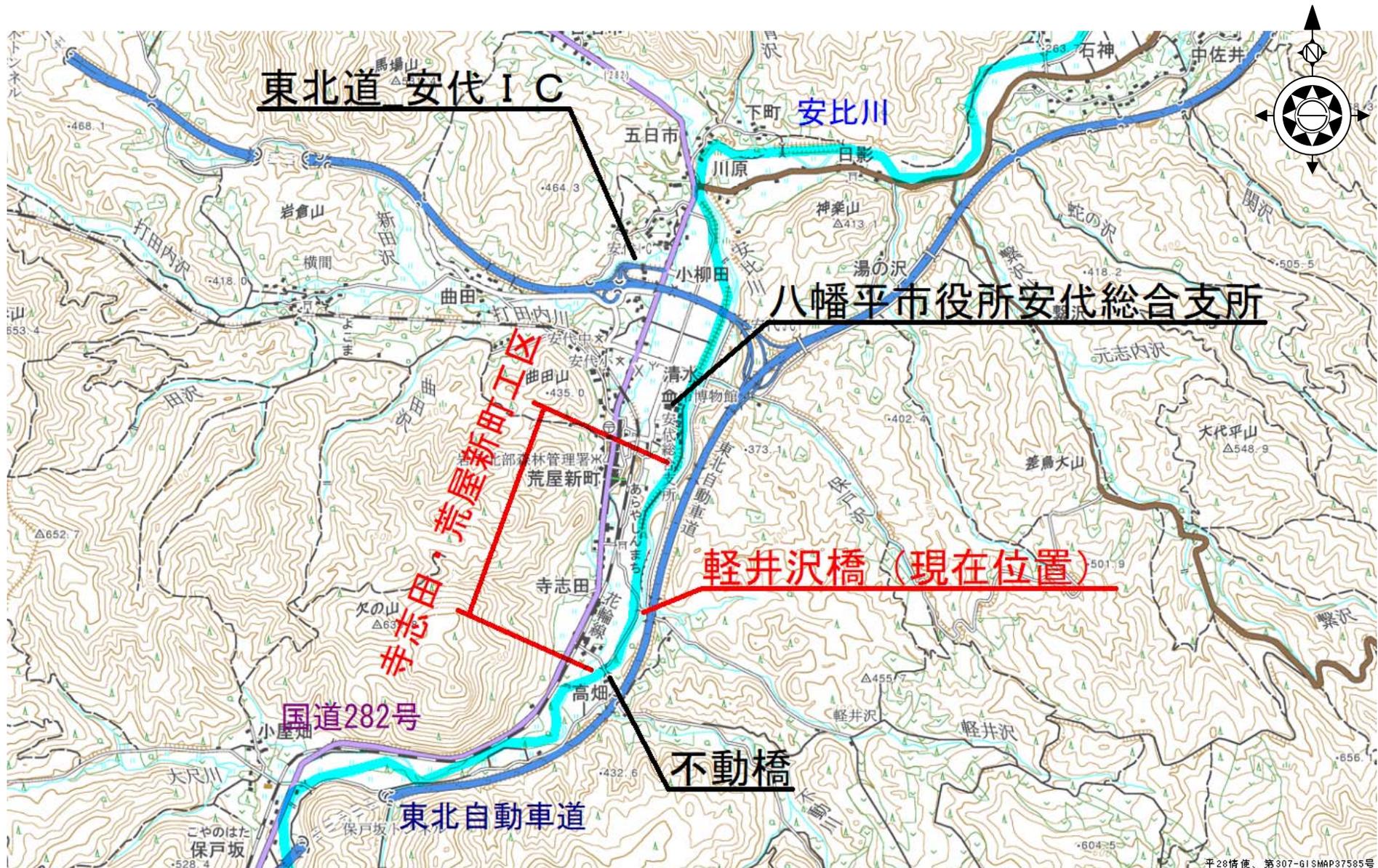
近年で最も浸水被害の著しい平成18年10月洪水及び平成25年9月洪水と同等規模の洪水を安全に流下させ、家屋等の浸水被害の軽減を図る。

# Ⅲ事業位置図



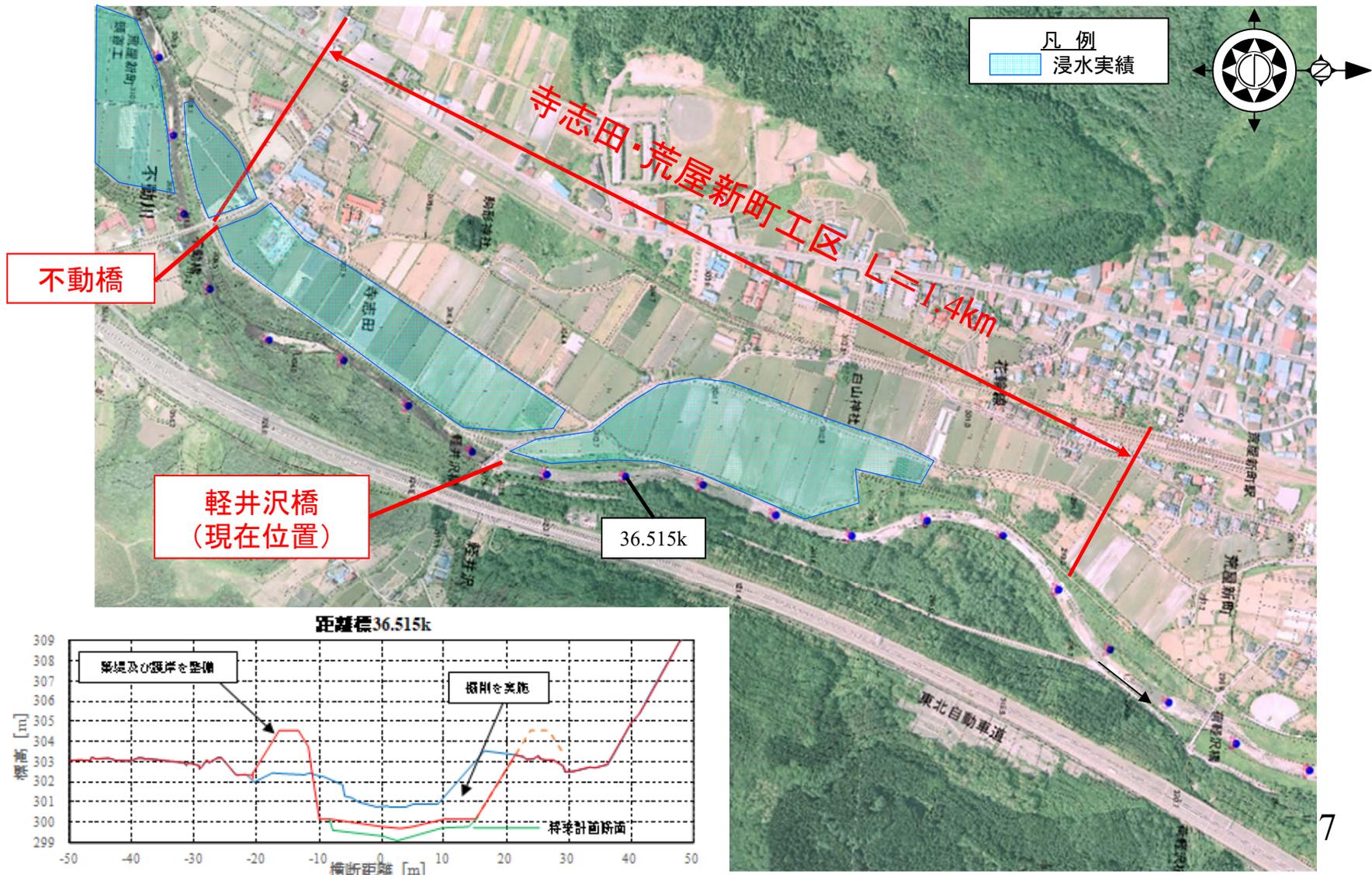
- 凡例
- H24事前評価 事業箇所
  - H26随时再評価 追加箇所
  - R1随时再評価 追加箇所
  - 別事業による対応箇所

# Ⅲ事業位置図



# IV 安比川 寺志田・荒屋新町工区の概要

- ・平成25年9月の洪水等で家屋や田畑に被害があり、対策が必要。



# IV 安比川 寺志田・荒屋新町工区の概要

## 【基本的な考え方】

- ・平面線形は、現況河道法線を基本とする。
- ・縦断線形は、現況河道縦断勾配を基本とする。
- ・河道掘削を行うほか、左岸側に築堤護岸を整備し、浸水被害の軽減を図る。

